

日刊建設工業新聞

11月8日

木曜日

第18100号

発行所 ©日刊建設工業新聞社 2012 〒105-0021 東京都港区東新橋2-2-10 電話03(3433)7151 URL:http://www.decn.co.jp/

日綜産業は、10月24、25日に仙台市宮城野区の夢メッセみやぎで開かれた建設技術公開「EE東北12」で、東日本大震災からの速やかな復旧・復興に役立つ機材として「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」など3商品展览展示・紹介した。写真。

出展した機材は▽同自在階段▽法面8号機械構台システム足場▽スチール製・アルミ製幅木付き先行手すり枠(セフトパラペッター)。いずれもNETIS登録製品で、現場の効率性、安全性向上に貢献できる点をアピールした。

同自在階段は取り付け角度が自在(20~75度)

法面2号 EE東北に出展

日綜産業

速やかな復旧に役立つ技術PR



に設定できるユニット式り、総合評価方式の審査アルミ合金製階段。シスで評価されるほか、工事テム化され、単管パイプによっては工事成績評点にクランプ付きステップの加算対象ともなる。

を一枚一枚取り付ける従 法面8号機械構台システムを取り付け階段と比 テム足場は、アンカー工べ、設置・解体作業の効率 事やボーリング工事での性を大幅に高められる。 削孔機などを設置する機械構台や、乗り入れ構台 工期短縮を実現できる 用として使用する足場。ほか、作業員確保が困難 な被災地の課題の緩和に ハンマー1本で組み立て一役立つことが期待され ・解体できる。これまでに約200現場で使われた。

推奨技術に選定されてお

セフトパラペッターは幅木(つま先板)が付いていることが売りの商品。幅木には作業床とのすき間をなくすためのふさぎ板を組み込む。現場の声を基に開発された商品で、09年に発表して以来、50万枚が稼働している。

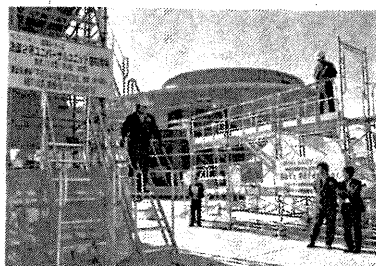
日刊建設産業新聞

発行所
日刊建設産業新聞社
本社 東京都板橋区板橋1-48-9
〒173-8710 電話 03(3961)1691(代表)
ファックス 03(3961)2251
http://www.kensan-news.com/
支社
大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越
支局
埼玉、中部、神戸、岡山
© 日刊建設産業新聞社 2012

EE東北'12に出展

法面2号
な ど 復興工事で採用 日綜産業

日綜産業は、10月24日、25日に開催されたEE東北



法面2号ユニバーサルユニット自在階段

北12に6年ぶりに出展した。

出展したのは、今年5月に国交省NETISの12年度推奨技術に選定された法面用昇降設備の「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」11写真11など。同製品は、安全性の高い法面昇降設備。アルミ合金製で本体3段の場合は28・5キロと軽量で、従来の単管十ク

ランプのパイプステップに比べると、組立や解体などが容易にできる。しかも、踏み台は常に水平となり手すりも設置されており、「工期短縮が期待される」という。すでに全国で2万台が現場で採用されている。

このほか、アンカー工事やボーリング工事での削孔機などを設置する機械構台や乗り入れ構台用として使用する「法面8号機械構台システム足場」と先行手すり、二段手すり、つま先板、交差

筋かいという、現場からの声のすべての機能を備えた枠組足場用の手すり枠「スチール製&アルミ製幅木付先行手すり枠セフトパラペッター」も出展した。

同社仙台支店の加藤隆大支店長は「今回の製品は、作業員不足や工期の短縮、安全確保面で活躍できる。すでに三陸自動車道を始め、復興工事もすでに採用されているが、ぜひ、他の現場でも採用を検討してほしい」と語っている。

1/5 (A)

建設新聞

K

発行所
建設新聞社

〒980-0821 仙台市青葉区春日町7-5

市外局番(022)221-下記番号

総務部 4601

FAX221-4633

編集部 4602

FAX217-4170

編集事業部 4603

FAX221-4637

営業部 4604

FAX268-6416

編集事業部情報室 4606

FAX221-4637

©建設新聞 2012

日綜産業

NETIS登録 3製品を展示

6年ぶりEE東北に出展

日綜産業（東京都中央区 小野辰雄社長）は仙台市で行われたEE東北に6年ぶりに出展し、NETISに登録している幅木付き先行手すり枠「セフト・パラペッター」、法面用昇降設備「法面2号ユニバーサルユニット自在階段」、法面用機械構台足場「法面8号機械構台システム足場」3製品を展示した。

「セフト・パラペッター」は、先行手すり・

二段手すり・つま先板・交差筋かいのすべての機能を備えた枠組足場用のアルミ製幅木付先行手すり枠。幅木にすぎ間塞ぎ板を組み込み、作業床からの落下防止を図ったほか、手すり部をスムーズに移動するパスポーター（安全帯通過器具）を設置することで、枠ごとの安全帯フックの取り付け作業がなくなり、作業床上の移動時間短縮を実現した。

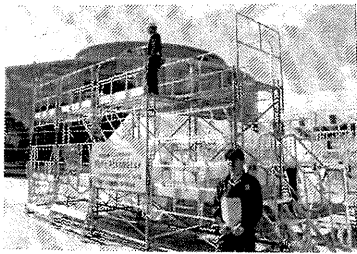
法面2号ユニバーサルユニット自在階段は、20度〜75度までの法面作業を安全に行うことが



法面2号、8号

できる手すり付き昇降階段。アルミ合金製のため軽量で持ち運びがしやすいほか、ユニットになっているため従来のパイプステップに比べ組立・解体が簡単に行える。

また、法面8号機械構台システム足場は急斜面でも建設機械を安定して使用するための構台用足



セフト・パラペッター

場。ハンマー1本で組立・解体が可能だ。

これらの技術は東北の復旧・復興工事で活躍。特に法面2号は従来製品に比べ設置スピードが3倍となることから、労務者不足も追い風となり例年の約2倍、1,000台が常時稼働しているという。